

月例報告書

国際文化学科 2年

こんにちは。フランスに来て2ヶ月弱が経ちました。3月までにあったことを振り返ってみたいと思います。

<銀行口座の開設>

フランスに来てまだまだ行政手続きは続きます。ビザの有効化、セキュリティソーシャルの申請、それから CAF (住居補助手当制度)。ビザの有効化はすぐ終わるので、来て少し余裕ができたらずぐにしたい方がいいです。忘れないうちに！

大変なのはセキュリティソーシャルと CAF です。この申請に必要なのが銀行口座。私は寮の近くにある Credit Agricole というところで開きました。銀行には予約が必要ですが、私は予約の仕方がわからなかったので、直接行って予約しました。何事においてもわからなければ直接行くのが早いです。銀行の開設は英語で行うことができました。私は英語もフランス語も拙いですが、どうしたいという意志さえ伝えられれば、理解してくれます。銀行口座には様々なプランがあるので、それだけどれにしたいか事前に決めておくといいです。銀行口座を開くことができたらずいにセキュリティソーシャルと CAF の申請です。私は2月終わりに申請しましたが、片方は返事待ち、片方は書類を3回拒否されました。なぜだかは全くわかりません。ちなみに同じ書類を出した友達は通りました。フランスはこんなものです。恐れずどんと構えましょう。

フランスの行政手続きが完了するにはとてつもない時間がかかるので、焦らない方がいいです。どこを調べても情報が載っていない場合は、自分の意思で選びましょう。フランス人も正解を知らないこともあります。迷ったときにはとりあえず行動してみることが生き延びるコツです。

<les cours de cluture>

CIEF の B2 から必須の授業に参加してみました。A1 から B1 までは自由に参加ができるフランスの文化や芸術についての講義です。初めは本当に何を言っているか聞き取れませんでした。2回、3回と繰り返すうちにとろどころ単語を聞き取れるようになってきました。ま



だ、授業の内容は全然わかりませんが、授業テーマの絵画や映画は好きなので、めげずに頑張りたいです。



<Je suis allée à Paris>

3月の終わりにパリに行ってきました。初めてのパリ、初めてのディジョン市街です。友達と4人で1泊2日です。

ところが、とんでもない問題が起こりました。泊まる予定だったスタジオに着き、一息ついた後にLa・La・Landの舞台となったジャズバーに行く予定でしたが、部屋を出て鍵を閉めようとしたら内

側からドアガードが閉まってしまったのです。初めての出来事にみんな困惑。近くの部屋に泊まっている人に助けを求めましたが、誰もドアを開けることはできませんでした。「Je n' ai jamais vu」誰もが驚き、大家さんですらこんなこと初めて、、と。3時間格闘したうえ夜ごはんは廊下でケバブ。結局、誰も開けることができず、壊すに至りました。その後は、予定を変更し、エッフェル塔へ。シャンパンフラッシュを見て帰ってきました。2日間で回ったのは、エッフェル塔、ルーブル美術館、凱旋門、オーランジェリー美術館、シャンゼリゼ通りです。有名どころ。そして、二度目のハプニングは帰り際、なんとバスを乗り逃しました。バスの時刻修正に気付いておらず出発の30分後に到着した私たちには、バスは待っていませんでした。バスでパリに行くときは時刻修正に気を付けてください。焦りに焦ってなんとか安いTGVをみつけディジョンへ。ある意味、一生に一度の経験ができました。

<フランスの春>

フランスにも春が来ました。いろいろな花が芽吹き、暖かく、カラフルです。お散歩で出会った大学敷地内の木々には、こんな花が咲くのねとほほえましく眺めています。驚きなのは、松ぼっくりが落ちていること。松ぼっくりって秋じゃなかったっけと記念に拾ってきました。お昼休憩、学食のあとの散歩に心癒される日々です。

